

9 題材指導計画

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準, 指導, 援助
① 生活をより豊かにするには	<p>自分や家族の生活の中でウォールポケットバッグを具体的に使用する場面を考え、交流する活動を通して、「使いやすさ」「美しさ」「丈夫さ」の視点で工夫した作品をつくるのが豊かな生活をつくり出すことに気づき、製作への意欲と見通しをもつことができる。</p>	<p>○調べてきたことを交流する。 ・髪の毛の収納する場所が決まっていない。 ・おばあちゃんの薬を朝晩分けておけるといい。 ・塾へ、そのまま持って行けるようにしたい。</p> <p>○題材を貫く課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 生活をより安全・安心・快適にするにはどうしたらよいただろう。 </div> <p>○教師の見本を見て、どんな場面でどう使用する物なのか想像を膨らませる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> どのようなウォールポケットバッグをつくったら、生活がより豊かになるだろう。 </div> <p>○住まいの働きについて考え、交流する。 ○第2題材を振り返り「快適」「安全」の視点から、どんな作品をつくるとよいか考える。 ・使いやすさ・美しさ・丈夫さ ○自分の製作するウォールポケットバッグのストーリーを考える。 ・家ではおばあちゃんの薬を分けて入れられるようにポケットを2つ作りたい。そのまま病院に行けるように、財布と家の鍵を入れられるようにしたい。 ○製作の見通しをもつ。</p>	<p>・事前に収納の問題点や願いを自分で見つけたり、家族に聞きとり調査をしたりしてくる。 ・教師の願いのつまった見本を用意し、イメージをもちやすくする。 ・本体やポケットに入れる物の再調査をし、次回その物をもって来るよう伝えておく(似たような大きさのものでも可)。 ・事前調査をもとに布の選択ができるようにする。</p> <p>《関心・意欲・態度》 ウォールポケットバッグの使用場面や使用者、目的を具体的にイメージし、自分や家族にとってより安全・安心・快適な生活空間を作り出そうとしている。</p>
② バッグの大きさ	<p>目的に合わせて出し入れしやすく、便利なウォールポケットバッグにするために、ゆとりやまちを理解し、本体の幅や深さを決定することができる。</p>	<p>○本体に入れる物や願いを確認する。 ・私は財布と水筒とタオルを入れられるようにしたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 使いやすくするためには、本体の大きさはどうすればよいただろう。 </div> <p>○入れる物を布で包んでみる。 ○ゆとりやまちについての復習をし、バッグ本体の大きさを決定する。 ・取り出しやすくするためには、ある程度ゆとりを考えて、大きく作る必要があるんだな。 ・まちはこの幅にしたい。 ○布の方向を知り、しるしつけをする。 ・角に合わせて本体を配置することで、余り布を大きくとることができるんだな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>使いやすいウォールポケットバッグにするには、入れる物の大きさ+ゆとりが必要なことを知り、ゆとりを考えてしるしつけを行うことができた。これを生かし、次のポケットの大きさも考えていきたい。</p> </div>	<p>・まちの幅や大きさに関する見本を用意する。 ・実際の布で持ってきたものを包みながら、考えられるようにする。 ・縫い代の分量を示しておく。</p> <p>・本体やポケットに入れる物の再調査をし、次回その物をもって来るよう伝えておく(似たような大きさのものでも可)。</p> <p>《知識・理解》 ゆとりやまちについて正しく理解し、目的に合わせて適切にしるしつけを行うことができています。</p>

<p>③ ポケットの工夫</p>	<p>使いやすいポケットや付属品の工夫を考える活動を通して、使用目的や対象者に合わせて形や大きさ、種類、配置を決めることが大切であることに気づき、根拠を明確にして工夫を説明することができる。</p>	<p>○生活が豊かになるストーリーを交流する。 ・おばあちゃんが病院にも持っていけるように本体には本や財布を入れ、薬をたくさん飲んでいるので、飲み忘れのないようにポケットを分け、鍵やスマホも入れたいから、それが入る部分もつけたい。</p> <p>使いやすいするためにはポケットや付属品はどうすればよいだろうか。</p> <p>○ポケットや付属品の使いやすさを考える。 ・取り出しやすいような大きさや形、落ちない工夫 ○実際に布を用いて、工夫できることを考える。 ・取り出しやすいように少し大きなポケットをつけよう。 ・物が落ちないように、スナップをつけよう。 ○グループで工夫点とその根拠を交流し合う。 ○全体交流で、仲間の工夫や良さから、再検討する。</p> <p>おばあちゃんが使いやすいウォールポケットバッグにするために、ポケットの大きさだけでなく開けやすさや見分けやすさなども考えることができたのでよかったです。おばあちゃんは指先が器用ではなくなってきたので、ポケットは大きくするけど、中身が落ちないようにスナップボタンをつけたい。</p>	<p>・前時に学習したゆとりについて振り返る。 ・ポケットの形や中身の出ない工夫など、見本を複数用意する。</p> <p>・ポケットの型紙を作り直せるようにする。</p> <p>《工夫・創造》 使用目的や対象者に合わせて、ポケットなどの付属品の形や種類、大きさ、配置を自分なりに工夫している。</p>
<p>④ ⑤ 裁断・ポケット作り</p>	<p>自分の願いを表わした製作計画に従って、布の無駄がないようにしるし付けや裁断をしたり、ポケットの幅や深さを考えながら適切な縫い方で丈夫に縫ったりすることができる。</p>	<p>○自分の製作品の願いや工夫を確認する。</p> <p>丈夫で美しいウォールポケットバッグにするには、どうしたらよいだろう。</p> <p>○「丈夫さ」「美しさ」はどう表現できるか考える。 ・しるし付けや裁断は曲がらないように行うとよい。 ・ポケットの口は力のかかるところだから、しっかりと上まで返し縫いをするとうい。 ○しるし付けを行う。 ・型紙を配置の仕方、まち針の打ち方（縫い代の取り方、柄合わせ、無駄のない配置） ○裁断する。 ○ポケット作り・ポケットつけ</p> <p>裁ちばさみやまち針、アイロンなど危険な物を扱ったが、正しく安全に使うことができました。型紙を配置して、まち針を打つときなど、丈夫さと美しさにこだわってできてよかったです。</p>	<p>・授業が始まるまでに必要な物の準備をさせておく。</p> <p>・ポケット口は、ミシン縫いかまつり縫いかを、利点を踏まえて生徒が選択できるようにする。 ・ミシンの操作手順書を準備する。</p> <p>《技能》 美しさ・丈夫さを意識しながら、製作（しるし付け・裁断・基礎縫い）を正しく安全に行うことができている。</p>
<p>⑥ 本体作り・ひも、付属品の縫い付け</p>	<p>自分の願いを表わした製作計画に従って、目的に応じた縫い方や付属品の取り付けを安全に実践できる。</p>	<p>○本時の工程を確認し、見直しをもつ。</p> <p>使いやすい丈夫で美しいウォールポケットバッグにするには、どうしたらよいだろう。</p> <p>○「使いやすさ」「丈夫さ」「美しさ」の表現を考える。 ・ひもの長さは肩にかけたり、机の横にかけたりすることを考えてつくりたいと思う。 ・ひもは力のかかる部分だから、しっかりと縫うと良い。 ・スナップボタンは何度も付けはしなくても取れないようにしっかりと縫い付ける。 ○ひもの付け方と本体の縫い方の確認をする。 ○ペアで確認しながら製作する。 ○本時を振り返る。</p> <p>本体の上部がずれないように合わせて、まっすぐ縫ったり、アイロンで縫い代を割ったりすることにこだわって製作することができました。ひもはすぐに取れないように、しっかりと縫い付けることができた。次回は仕上げなので、最後までこだわってやりきりたいです。</p>	<p>・授業が始まる前に、ミシンとアイロンの準備をさせておく。</p> <p>・スナップボタンの付け方を復習できるようにヒントコーナーを準備しておく。 ・ミシンの操作手順書を準備する。</p> <p>《技能》 正しく安全に気をつけながら、丈夫さや見た目の美しさのある作品を製作することができている。</p>

<p>⑦ 本体作り（仕上げ）</p>	<p>作品を表に返し、アイロンをかけたり、ミシンでステッチをかけたりすることで、美しく丈夫な作品に仕上げることができる。</p>	<p>○前時までの学習の確認と本時の工程を確認し、見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>丈夫で美しいウォールポケットバッグに仕上げよう。</p> </div> <p>○本時の作業の内容を確認する。 ○まち縫い・ステッチ縫いについて知る。 ・ステッチをかけることで、丈夫な作品に仕上がる。 ○ペアで確認しながら製作する。 ・まち針の刺し方・ミシン縫い、アイロンかけ ○本時の作業を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ウォールポケットバッグが完成した。最後まで安全に気をつけ丁寧に製作する事ができてよかった。自分の願いが形になって嬉しいです。自分が考えたストーリーにそっておばあちゃんに使ってもらって、使いやすいかどうか確かめてみたいです。</p> </div>	<p>・授業が始まる前に、ミシンとアイロンの準備をさせておく。</p> <p>・できあがった作品を持ち帰り、実際に使用してみることで評価・改善につなげる。</p> <p>《技能》 正しく安全に気をつけながら、丈夫さや見た目の美しさのある作品を製作することができる。</p>
<p>⑧ より安全・安心で快適な生活空間を目指して</p>	<p>作品の評価・改善について話し合うことを通して、より豊かで安全・安心・快適な生活空間をつくりだすには、生活を見つめ工夫し、改善していくことが大切であることに気づき、今後の自分の生活に取り入れて実践しようと思えることができる。</p>	<p>○作品に込めた願いや工夫、使用した評価・改善点などをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>より豊かで安全・安心・快適な生活空間をつくりだすにはどうしたらいいだろう。</p> </div> <p>○完成した作品をもとに、交流する。 ・Aさんの作品は、おばあさんの行動や体の特徴をよく考えて使いやすい工夫がされているから、おばあさんにとって豊かな生活になりそう。 ・Bさんの作品は、ウォールポケットとして使うときは、自分だけでなく家族も一緒につかうことができるから使いやすいし、一つの物を通して家族の絆ができていてよいと思う。 ・Cさんの作品は使わなくなったズボンの一部使っていて、かわいいし捨てるよりいいから、いいアイデアだと思う。 ○今までの学習を振り返り、より豊かで安全・安心・快適な生活空間を創り出す手順を考え、交流する。 ・自分や家族の願いを大切に、改善しようとする。 ・快適にするためには、何を必要としているのかを調べたり、使う人が使いやすい工夫したりするとよい。 ・「使いやすさ」「美しさ」「丈夫さ」を考えると良い。 ・振り返ることが大切で、やってみた評価をし、さらなる改善策を考え次の実践につなげるとよいと思う。 ○本時を振り返り、今後の実践を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>実際使ってみて、家の収納が改善されよかったです。実際に使ってみると使いにくい部分もあったので、工夫改善が必要だと思いました。 私は学習を通して、生活をより豊かにしていくためには、生活から問題を見つけ、「快適さ」などの工夫し、変えていこうとすることが大切だとわかりました。今まで学習した知識や技能をつかって、これからも自分でより豊かな生活をつくっていけるようにしたいです。</p> </div>	<p>・自己評価は「使いやすさ」「見た目の美しさ」「丈夫さ」を観点として行う。</p> <p>・仲間の作品のよさを視点に基づいて認めることで、自信につなげられるようにする。</p> <p>《関心・意欲・態度》 より豊かで安全・安心・快適な生活空間をつくりだすために、生活を見つめ工夫し、改善していくことを、今後の自分の生活に取り入れようとしている。</p>